

2007-2008 RI President
 Wilfrid J. Wilkinson



<本年度クラブ会長方針>

ENJOY ROTARY ふたたび



第1133回例会

於 名古屋東急ホテル
 平成19年9月27日(木)

出席計算数 63名中 43名出席
 出席率 68・25%
 前々回出席率 95・24%

ロータリーソング

「ROTARY-AR-Y」

指揮者 湯山 淳二
 プアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

アルピニスト 田辺 治さん

ピクチャー

名古屋RC 盛田 淳夫さん
 名古屋瑞穂RC 八木沼幹夫さん

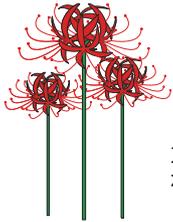
ニコソックス

田辺治さんをお迎えして。卓話楽しんでいきます。

堀江 英弥・前田 隆久
 尾上 昇・浅井 隆宣
 横内 恭

近藤さん、大変お世話になりました。佐々木功
 やつて涼しくなりました。

木村 光徳



会長挨拶

堀江 英弥



本日は世界的なアルピニストの田辺 治様をお迎えして「極限に挑む」に挑む」と題して卓話をいただきましたことになっております。きつと興味深いお話をお聞かせいただけると楽しくなっておりますのでよろしくお願いたします。

一昨日9月25日は中秋の名月でした。澄みきった東の空に浮かび上がった大きな月を眺めて一献かたむけられた方もお見えになったのではないのでしょうか。

ところで中秋の名月は必ずしも満月ではないと言われていることをご存知でしょうか。これは月と地球の公転軌道の関係で、新月から満月までの日数が15日とは限りなためにおきます。今年も満月は今日9月27日が満月ということになります。

「中秋」と「仲秋」では意味が違いますがご存知でしょうか。旧暦では7月8月9月を秋としていますが、7月を孟秋、8月を仲秋、9月を季秋と呼んでいました。と言いつつ8月のことを「仲秋」と書き「中秋」は9月15日のことをさします。

卓話

「極限に挑む」

アルピニスト 田辺 治さん



「ヒマラヤ」と言いつつ「エベレスト」があまりにも有名ですが、K2、カシラネンジュ、ガガピスをはじめ、8000mの山が14座、7000mの山は数千座、6000mの山は数万座とあります。このヒマラヤの山々を舞台に、昔から様々な冒険が行われてきました。

1900年代から1960年代はヒマラヤ登山の黄金時代とよばれ、すべての8000m峰で、主だった7000m峰が初登頂されました。初登頂の時代が終わると、次はより難しいルートから挑戦するようになりました。この当時の象徴的な目標がエベレストの南西壁でした。日本からも植村直巳さんらが挑戦しましたが登れず、結局1975年、イギリス隊によつて初登頂されました。さらに困難を求める登山家は冬のエベレストへ挑むようになりました。そして1980年ポーランド隊が冬のエベレストの初登頂に成功しました。

このように登山は進歩してきましたが、日本においても究極の困難はエベレストの南西壁を冬に登るといふもので、群馬隊によるものでした。「この難い山は、気温マイナス50℃と風速50m、体感温度マイナス100℃の中で標高差2200mの大岩壁を登る」というものです。1991年の挑戦は冬のジェット気流に阻まれましたが、1996年の再挑戦で、私を含め6名が初登頂に成功しました。



登頂のフィルムを説明される田辺さん

さて、エベレストの南にローツェ(8596m)山があり、その標高差3300mの南壁は世界最難の壁の1つと言われています。1990年旧ソ連隊によつて登られました。冬はだれも登っていません。日本山岳会東海支部では3年がかりで準備を進め、2001年私を隊長として冬期ローツェ南壁の初登頂に挑みました。この時は戦力不足のため7600mで敗退しましたが、登山チームを組み直して、20

03年再挑戦いたしました。そして強風、低温、落石の中、山頂まであと250mの地点まで登りましたが、残念ながらまたしても断念しました。そして2006年再々挑戦し、3度目の正直で、夢をかなえることができました。

「ヒマラヤ登山は一日いくのに60万〜100万円の個人負担金と2〜3か月の時間がかかり、成功してもたいして名声が得られるものではありません。その上2.5%の死亡率で生命に危険がおよびます。私の友人も毎年のように遭難して亡くなります。それにもかかわらず私はこれまで24回のヒマラヤ登山を實踐し、生きている日本人の中には最多の8000m峰に登頂してきました。「ヒマラヤが好きだから、楽しいから」と続けてきたヒマラヤ登山ですが、世界中で自分にしかできない冒険をできる幸せな事だ（I got my life）」

〜ロータリー百知識〜 新世代のための

ロータリープログラム Rotary's Programs for New Generations

1993年セントルイス国際大会で「善良で健全な市民を育てる」青少年奉仕活動が検討されている。当初は社会奉仕委員会の青少年奉仕小委員会として発足、次

世代に貢献する青少年育成の重要性から非公式に第五奉仕部門と呼ばれ、現在では社会奉仕や職業奉仕、国際奉仕ともかさなり奉仕活動分野は広範囲に及んでいる。1996〜97年度より「新世代のためのロータリープログラム」と改称された。新世代のための会議、青少年交換、奨学生、インターアクト、ロータリーアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム、職業相談指導、ロータリー地域社会共同隊、身体障害児の援助、各種野外活動（スポーツ）ほかレクリエーションプログラムなどを通して才能と熱意を呼び起こし、奉仕と責任感を育てることを目的としている。



10月18日(木)例会のご案内

元米山記念奨学生

シラトルアンチャイグンテターさん

LINE電話

広報委員会

内藤 明・近藤宏一郎
小島 雅尚・杉浦 令淑
犬飼 芳雄・長野 弘

麻雀同好会設立総会

麻雀同好会が発足しました。

第1回目の総会と例会が、平成19年9月27日(木)に覚王山の「八州園」にて開催されました。

会長に 新沼 操さん、副会長に 吉田明夫さん
常任顧問2名 尾上 昇さんとその年度の会長
(堀江英弥さん) 競技委員に 荻巣賢二さん
会計に 岩崎征一さん、会計監査に 草野勝彦さん
が指名され、承認されました。

出席者数は19名でした。又、同好会の規約も承認されました。

第1回例会は、5卓19名で競い合い

優勝が 岩崎征一さん、
2位が 丹下信義さん、
3位が 柴岡正将さん、
BB が 松本定道さんでした。



<優勝の喜びのコメント>

久しぶりの麻雀の牌の感覚に緊張しましたが、少し控えめに欲を出さず丁寧にゲームを進めた事がよかったと思いますが、麻雀はその時の運気が半分以上の勝因になると思います。とにかくありがとうございました。

岩崎 征一

ヒルウォーキング部 平成19年9月29日(日)

久々のヒルウォーキング部例会でしたが、あいにくの雨で、予定のコースを大幅に変更して、楽しく、親睦を図ってきました。

○コース○

恵那、神坂峠から富士見台往復。

山小屋、万岳荘で皆で料理をして昼食。帰路、温泉に寄って元気に帰ってきました。

